整備の方針

無電柱化はどのような道路が対象なの？

[歩道幅員2.5m以上かつ計画幅員で完成している都道]

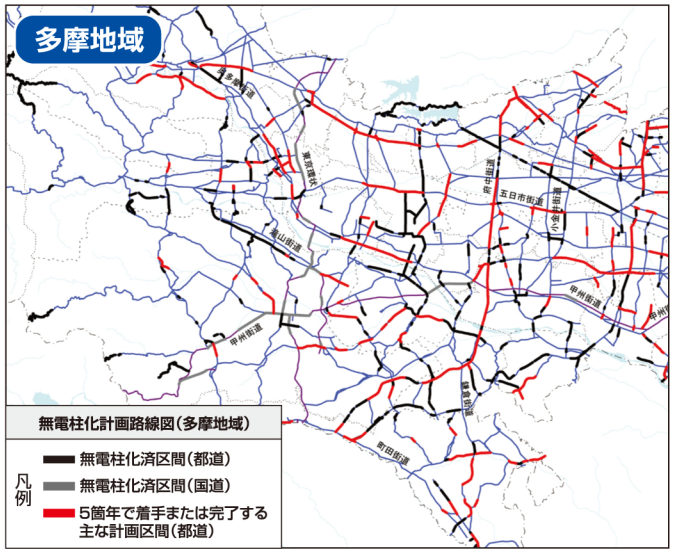
センター・コア・エリア内、周辺区部や多摩地域の緊急輸送道路及び利用者の多い主要駅周辺等

[新設・拡幅整備を行う都道]

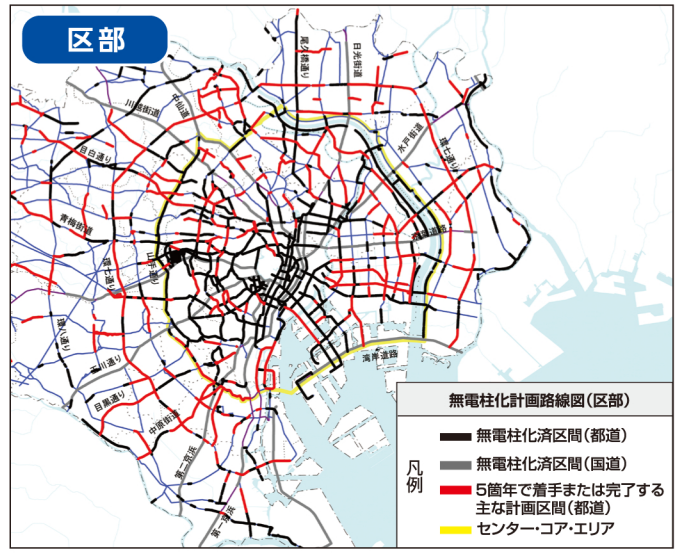
道路の新設や拡幅を行う際に同時に無電柱化

[区市町村道の促進]

センター・コア・エリア内、利用者の多い主要駅周辺、観光地周辺及び防災に寄与する路線



※多摩地域の整備対象都道は、人口集中地区（DID）内の全線とする。ただし、DID外の都道についても、観光地周辺等の箇所については整備対象とする。



※センター・コア・エリア：おおむね首都高速中央環状線の内側エリア

東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組

■ 都道

大会開催までに、首都機能や競技会場などが集中しているセンター・コア・エリア内の都道※の無電柱化を完了させます。

※計画幅員で完成した都道

主な整備道路
センター・コア・エリア内：晴海通り、清澄通りなど
競技会場など予定地周辺の都道：環状七号線（葛西・東海）

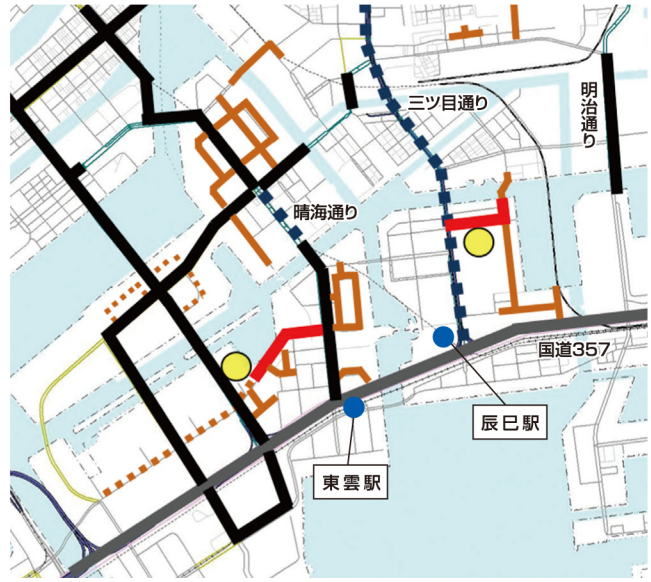
※競技会場予定地は「立候補ファイル（平成25年1月7日）」より

■ 区市道

競技会場周辺などの区市道において、地元区市と合意した区間について、大会開催までに無電柱化を完了させます。

主な整備道路
区部：有明アリーナ（仮称）など
多摩地域：東京スタジアム

（オリンピックアクアティクスセンター（仮称）・有明アリーナ（仮称）周辺案内図



都市防災機能の強化に向けた取組

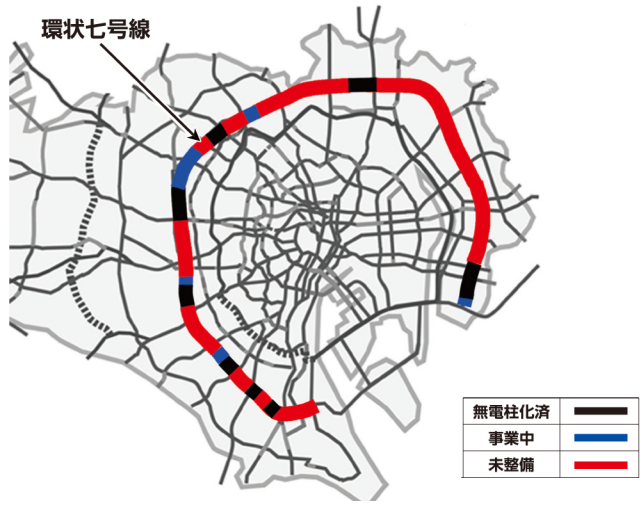
■ 都道

災害時の避難や救急活動を担い、防災拠点などを結ぶ第一次緊急輸送道路を優先的に整備します。特に震災時に一般車両の流入禁止区域の境界となる環状七号線を、重点的に整備するとともに、新たに新奥多摩街道等に着手するなど、周辺区部及び多摩地域を中心に整備していきます。

環状七号線〈足立区江北〉

【新たな政策目標】

第一次緊急輸送道路：平成36年度末　50%完了
うち環状七号線　　：平成36年度末 100%完了



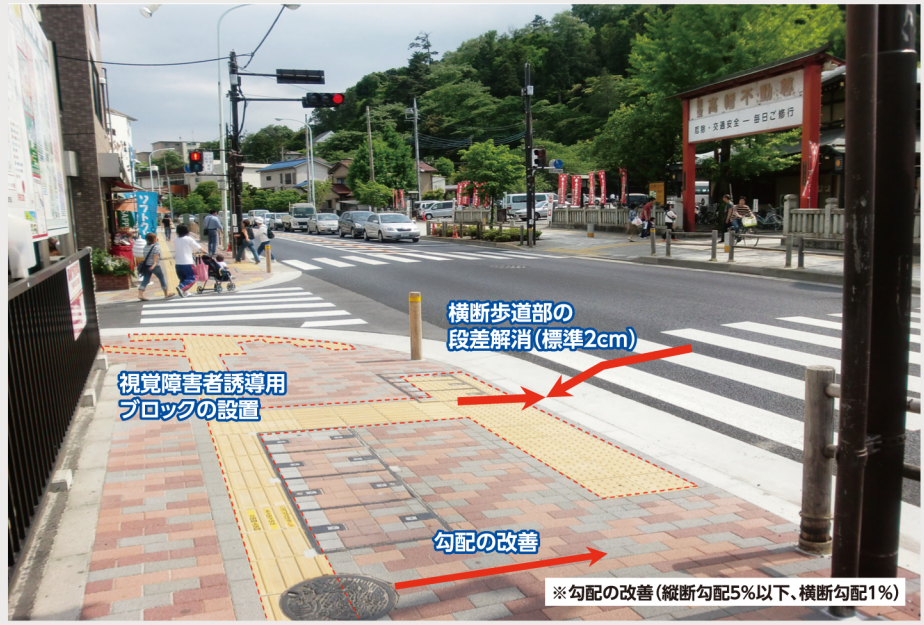
環状七号線の整備状況（平成25 年度末時点）

■ 区市町村道

センター・コア・エリア内や利用者の多い主要駅および観光地周辺などに加え、「防災に寄与する路線」について、財政支援と技術支援を行います。

【防災に寄与する路線】

- 緊急輸送道路
- 木造住宅密集地域内の道路
- 避難場所と緊急輸送道路を結ぶ道路
- 都道の無電柱化との連携箇所
- 消防署や災害拠点病院の前面などの道路

バリアフリーとの一体的な整備

利用者の多い主要駅周辺では、安全で快適な歩行空間を確保するため、無電柱化の舗装復旧工事とあわせて、歩車道の段差の解消、勾配の改善および視覚障害者誘導用ブロックの設置等、バリアフリーとの一体的な整備を行っていきます。